

第 19 回里山幹事会議事録

夏場は活動を休止しているが、幹事会は実施して情報交換をしている。随想風にまとめておきたい。

日 時 平成 25 年 8 月 13 日 (火) 13.30~14.30

参加者 影山 田畑 藤田 最上

議 事

先のルート開発ではじめて保険を掛けた。影山夫人が諸手続きをすませてくれたそうで、要領がわかった。出発時点で参加者名簿を作成し、電話で届け出る。1 件 1000 円。今後とも野外研修には掛けることにした。

それと関連するが、8 月 9 日、影山・藤田・最上の 3 人で青い鳥の谷の枯木整理をした。うだる暑さに参ったとのこと。その時、半分倒れていた松が藤田さんの肩口に倒れてきた。藤田さんは軽い擦過傷を受けた。見せてもらったが、引っ掻いたような赤い筋がいくつもついていた。その時、彼はヘルメットを着用せず半袖であったという。軽い事故です済んでよかったが、厳しく反省する必要がある。山仕事をするときには、ヘルメット、長袖、手袋着用という基本を守る。これは必須である。 <年寄りの冷や水、若気の至り>

9 月度の幹事会の後になるが、雷山方面のハイキングルート整備と住民交流センター「こもれば」周辺のマツ、コナラの伐採を考えている。この辺は京都府との県境になるので、補助金関連の作業には課題がある。境界線を明確にしてから着手したい。

陽だまりの会やもずの会など、関連団体と合同で懇親会を考えている旨提案した。そういう機会を通じてもっともっと交流を深めたという点で合意を得た。詳細は未定であるが、8 月中には実施したい。

以上 文責田畑